

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	日立市	代表者名	小川 春樹
担当者部署	市長公室	連絡先電話番号	0294-22-3111
担当者役職	主幹	担当者氏名	田口真佳
住所	317-8601 茨城県日立市助川町1-1-1		
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川島 宏一 ※アドバイザーリーダー
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	・データの利活用における本市の課題について、親身に御相談に乗っていただき、かつ具体的なアドバイスを頂戴できたこと。
アドバイザーへの要望事項	・特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月10日	13時15分	17時45分		270
3-2. 派遣場所	会場名	日立市役所		最寄駅	日立駅
	所在地	茨城県日立市助川町1-1-1		最寄駅からの交通手段	バス
	派遣形態	事前打合せ（オンライン）			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・今後、オープンデータを拡充していくうえで、データを所管している各課の協力が不可欠だが、各課においてオープンデータの取組そのものが認知されていない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・課長級職員（全員）を対象としたデータ利活用研修を実施し、今後の本市のデータ活用に向けた機運醸成の「起爆剤」としたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・オープンデータの意義などを説明し、オープンデータとして掲載するデータの拡充を推進するだけでは、データ所管課にとってのメリットを具体的にイメージできないことから、オープンデータやデータ利活用の推進にはつながらないことが多い。 ・データ利活用を推進するためには次の視点が必要である。①各課が抱えている問題を解決するために、どのようなデータが必要で、どのように使うことで、どういった効果をもたらすのか、といったことを5W1Hにあてはめながら具体的に考える。②データが身近な課題解決に役立つ、ということ、実感を持って理解していく。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	・「オープンデータの拡充」が目的化しており、データを何のためにどのように役立てるのか、といった視点が欠如していたことを認識することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> 講師の協力を受け、データ活用の好事例や地図データなどを用いたデータ活用方法の紹介及びデータを用いて問題解決に至るフローなどを説明することで、各課の問題解決にデータを用いることについての手ごたえを感じられるような庁内向け研修を今後実施予定。 	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は未実施。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 各課において、データを用いた課題解決を実現できるように研修などの啓発活動を実施し、本質的な意味でのデータ活用を実現する。 	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子



オープンデータ活用による共創型の問題解決
～EBPMも視野に入れて～



川島 宏一 筑波大学システム情報系 教授